

岡南こども園 自己評価報告書（令和5年度）

<評価> 十分できている：3 できている：2 努力が必要：1

評価項目	平均評価	振り返りと課題
1 基本項目		
1 教育・保育の基本(認定こども園教育・保育要領)を理解している。	1.9	◇園の教育・保育について時々確認、振り返りをしたい。 ◇職員同士がしっかりとコミュニケーションをとることが大切である。 ◇個人の個性や性格を大切にしたい保育をする。 ◇園の理念や計画だけでなく、保育要領等もより深く理解していきたい。 ◇クラス間の連携をしっかりとっていききたい。 ◇子どもたちへの伝え方、優先順位、保育のレパートリーを課題にしたい。 ◇一人で抱え込まず、報告・連絡・相談を大切にしたい。 ◇理解しているようでできていない所もあるため、今一度基本的な項目を見直さなければならない。 ○研修や本・雑誌で得た情報を会議で発信するよう努めた。 ○保育について振り返る時間、同じクラスの職員で共有する時間が大切だと感じる。 ○午睡中など、時間をみつけて職員同士で密に情報交換、共有をすることができた。 ○基本事項を正しく認識した上で、保育に取り組む必要がある。 ○研修等の機会をみつけ、自分の保育の仕方やスキルを高めていく必要がある。 ○パート職員が会議に参加できる機会があるといいと思う。 ○「努力が必要」の評価が「できている」の評価になるよう意識した保育を心がけたい。
2 園の理念や教育・保育目標を理解している。	2.1	
3 園の全体的な計画を理解している。	2.0	
4 園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	2.2	
5 定期的に自己評価をして、教育・保育の改善に努めている。	2.1	
6 教育・保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	2.1	
7 自分の教育・保育の良さや課題を認識している。	2.2	
8 すぐにでも取り組まないといけない課題の改善に努力した。	2.2	
9 保育雑誌や専門書などを読んで教育・保育の情報を集めている。	2.3	
10 園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発信している。	2.3	
11 業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	2.7	
2 子どもとのかかわり		
【生命の保持・心の安定】		○給食室との連携を意識し、子どもたちが食に興味・前向きなイメージを持つような対応をした。 ○地域の方や高齢者の方との交流の機会を取り入れることができる ○クラスの職員や上司に相談したり話をすることにより、自分の保育を見直したり、新たな発見をしたり、とても勉強になった1年だった。 ○異年齢児との交流を多く行うことにより、積極的に取り組んだり行動が身についたりした。 ○まだうまく言葉を伝えきれない子どもに対しては、しぐさや表情で気持ちを理解するよう努めた。
12 ひとりひとりの発達を理解している。	2.4	
13 ひとりひとりの生理的欲求が満たされるように配慮している。	2.5	
14 登園時に優しく声をかけるなど、状況に応じて対応している。	2.7	
15 わかりやすい言葉で穏やかに話かけている。	2.4	
16 子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	2.4	
17 子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	2.6	
18 制止やせかす言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	2.1	
19 「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	2.1	

【健康・安全】			○異年齢での関わりの活動を多く持ったことで、自ら他学年の遊びに参加しようとする様子が見られた。 ○乳児も園外保育で公園などに行きたい。 ○子どもたちが毎日楽しく過ごせようような雰囲気づくりを大切にしている。 ○楽しさを伝えるためには、保育教諭が一番楽しむことが大事だと思う。 ○各年齢で、毎年度初めのおたより等で、今年度はこんなことができるように伝えたりすることで保護者の意識も変わり、保育もしやすいのではないと思う。 ○制止の言葉を不用意に使わないよう心がけながら、成長や年齢に応じて待てるよう支援することができた。
20	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組めるように配慮している。	2.5	
21	食事やおやつを楽しめる雰囲気づくりをしている。	2.6	
22	野菜を育てたり調理してくれた人への感謝の気持ちや命を大切にす る気持ちを育んだりできるように働きかけている。	2.3	
23	好き嫌いや食べ残しを直すために過度に叱らないよう配慮している。	2.7	
24	トイレの後や食前の手洗い等、清潔にする習慣が身につくよう働きか けている。	2.6	
25	体を動かすことを楽しむように働きかけている。	2.4	
26	危険を意識して行動するよう、安全について指導している。	2.4	
【人とのかかわり】			○「心をこめた優しい保育」をいつも心がけ、たくさん読み聞かせをしたり語りかけを大切にしている。 ○子どもが自由に表現したり、友だちとの関わりで思いやりや楽しいと感じられるように援助していきたい。 ○月齢が上がるにつて、言動の一つひとつを大事に伝えていく必要性を感じた。 ○子どもとおもちゃで接点を多く持ち、楽しく保育をすることができた。
27	友だちとの関わりで、友だちの良さや大切さに気付けるようにしてい る。	2.4	
28	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮してい る。	2.3	
29	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	2.4	
30	活動を通して、共同の遊具や道具を大事にすることを体験できるよう にしている。	2.3	
31	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	2.3	
32	異年齢の子どもと関わることを大切にしている。	2.3	
33	外国の人や文化の違う人に親しみをもちつ機会を作っている。	1.4	
34	地域の人や高齢者と親しむ機会を作っている。	1.4	
35	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育ててい る。	2.2	
【表現活動】			
36	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会を作ってい る。	2.1	
37	感じたことや考えたことを自由に表現する機会を作っている。	2.1	
38	子どもが自由に歌ったり踊ったりすることを楽しめるようにしてい る。	2.4	
39	様々な素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	2.2	
40	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	2.5	
【言葉】			
41	心のこもった挨拶をしている。	2.6	
42	正しく丁寧な言葉で話かけている。	2.4	
43	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を、相手の気持ちを大 切にして指導している。	2.5	
44	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気 を作っている。	2.4	
45	子どもが人前で話をする時に、相手にわかりやすく話せるよう援助し ている。	2.2	
46	読み聞かせの時に、言葉の楽しさなどが伝わるように配慮している。	2.5	

3 保育環境		
【環境作り～心地よい生活の場】		
47	常に公平で温かい態度や言葉づかいで子どもに接し、信頼関係を築くようにしている。	2.5
48	ひとりひとりが安心して過ごせる環境作りを心がけている。	2.6
49	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	2.5
50	適切な声の大きさに接している。	2.4
51	好きな遊びができる環境が整えられている。	2.2
52	自然との触れ合いを大切に心が豊かになるよう配慮している。	2.2
53	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	2.6
54	遊具、おもちゃ、砂場などの点検、消毒を定期的に行っている。	2.4
55	必要な場所に転倒防止策をしている。	2.2
56	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	2.2
【環境づくり～成長を促す】		
57	発達に合ったおもちゃや遊具を用意している。	2.4
58	子どもの動線を考えて、遊具や用具を配置している。	2.4
59	子どもが身近な動植物に触れ合う機会を作っている。	2.0
60	ひとりひとりの興味に合わせて好きな遊びが出来るようにしている。	2.3
61	園外保育で、公共機関などを利用し地域に興味を持てるようにしている。	1.3
62	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	2.3
63	日常的な生活や環境の中で、標識や文字に関心を持つ工夫をしている。	2.1
4 保護者とのかかわり		
【情報の発信と受信】		
64	教育・保育の方針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	1.8
65	個々の家庭の養育方針を理解している。	2.0
66	必要に応じて、保護者との個別面談を行っている。	2.2
67	緊急時は電話などで迅速な連絡を行っている。	2.6
【支援】		
68	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを見に付けられるようにしている。	2.4
69	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている。	2.5
70	悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	2.5
71	保護者の保育参加等、子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	2.1
【マナー】		
72	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話をするように心がけている。	2.5
73	丁寧な言葉や敬語を使っている。	2.6
74	子どもの体調不良等の連絡時の伝達方法に配慮している。	2.7
75	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	2.4
<p>○環境の工夫について職員と話をしたり意見を取り入れたりした。</p> <p>○発達に応じたおもちゃを用意して、手指を使ったりつたい歩きを促したりするよう心がけた。</p> <p>○天気の良い日は積極的に戸外遊びを行い、自然を取り入れた遊びをすることができた。</p> <p>○職員が出し入れするのではなく、園児が棚から自由に選んで使えるような環境が理想だ。</p> <p>○消毒や安全点検を、感染流行時だけでなく、小まめにおこなって対策していきたい。</p> <p>○正月前からかるた遊びを取り入れ、文字に関心が持てるようにした。</p> <p>○活動の流れを文字で書き、流れをわかりやすく示すなど、文字に触れる機会を多く作った。</p> <p>○好きな遊び、やりたい遊びを何度も繰り返して楽しめるような心地よい環境を作ることを意識した。</p> <p>○延長保育時に、異年齢児が興味をもって安全に遊べる遊具を用意したり、リズム体操で体を動かし楽しめるように心がけた。</p> <p>○おもちゃの消毒の時、壊れたり危なくなっていないかを確認している。</p> <p>○消毒を常に行い、心地よい生活の場を作ることができた。</p> <p>○伝達ミスがないようメモなど忘れないようにしたい。</p> <p>○保護者の方に丁寧に寄り添い、信頼関係を構築するようにしていきたい。</p> <p>○それぞれの子どもができるようになったことを把握し、保護者の方に伝えることで関係を深めた。</p> <p>○保護者の方と面談をしたり、送迎時に成長を共に喜ぶ機会をつくるように心がけ、一緒に成長を感じることもできた。</p> <p>○保護者の方と連携し、園児の体調の変化に早く気づけるようにすることができた。</p> <p>○保護者の方と情報共有することで、子どもたちにより良い支援方法がわかると感じた。</p> <p>○保護者の方が話しやすい雰囲気づくりをするよう心がけた。</p> <p>○泣いて登園する園児への保護者の方の不安に向き合い、安心してもらうよう心がけた。</p> <p>○支援センターにいかにしてより多くの利用者の方に来ていただけるかが日々の悩みである。</p> <p>○日々成長する子どもたちの様子を保護者の方に丁寧に伝えながら、無理なく食事に移行したり、生活リズムを整えたりすることができた。</p>		

5 ほかの保育者とのかかわり			
【良好な関係と協働性】		<p>○困ったことを早めに相談するようにしたい。</p> <p>○職員間での対話をしっかり行い、良好な関係を築いていきたい。</p> <p>○保護者の方と子どもの育ちについて話し合うことで、自分では気づけなかったことに気づくことができた。</p> <p>○乳児と幼児の担当職員間でうまく連携がとれないことがある。</p> <p>○職員間で話し合い、それを実行していくためにはどうすればいいかを考えていきたい。</p> <p>○相手の「良いところ」をみつけて「よく聞き」「ほめあい」「認め合い」でいきたい。</p> <p>○他の職員が受講した研修の内容や経験を聞き、自分の保育に活かすことができた。</p> <p>○夏や冬の希望保育の時には、職員全員が出勤し、大掃除やクラスでの話し合いを行った方がよいと思う。</p> <p>○報告・連絡・相談は極めて重要である。</p> <p>○パート職員も参加できる研修を用意してもらっているのが有効に活用できるよう努めたい。</p> <p>○他の保育者との関りを通して、いろいろなことを勉強させてもらっている。</p> <p>○職員全員が園の方針に向かって共に進むべきであると思う。</p> <p>○小さなことでも職員間で共有し、子どもの方成長や安全を守ることができるよう努めた。</p>	
76	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等を尊重し、良好な関係を築いている。		2.5
77	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等の言葉を素直な気持ちで受け入れている。		2.6
78	報告や連絡、相談をするよう心がけている。		2.7
79	互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている。		2.4
80	園が目指す目標に向けて互いに協力している。		2.4
【向上】			
81	自己評価をもとに、職員間で教育・保育内容に対話を重ねている。	2.0	
82	教育・保育の良さや課題を話し合っ明にし、見直しや改善につなげている。	2.1	
83	研修などを通して、互いに知識や技術の習得を図っている。	2.2	
84	子育て支援や地域開放、地域連携のあり方について、職員間で話し合っている。	1.4	
<p>□研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修回数 ：外部研修45回（オンラインを含む）、内部研修20回 ・受講人数（延べ）：92名（外部研修） ・その他、キャリアアップ研修等受講 			